

事業番号	10 05 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ活用推進事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト 9-2-3信州ブランド確立プロジェクト		課・局・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室		
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1選ばれる観光地づくり 1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H16 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 ア) 地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策の総合的な実施と併せて、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進めるため、民間との協働により信州ジビエのブランド化を目指して総合的なジビエ振興を図り、農山村の活性化に資する。
------	--

現状（予算編成時）	○野生鳥獣の農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況：農林業被害額11億5千万円(H25) ○ニホンジカの捕獲頭数が増える中、ジビエの需要量の拡大が課題：H24ニホンジカ捕獲頭数33,668頭、利用推定頭数1,564頭、利用率4.6%
-----------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 県全体で深刻化しているニホンジカの被害対策として県では捕獲対策の強化を図っており、県としても地域の有用資源としてのジビエを有効活用することで、地域振興につなげる取組を推進する必要がある。
----------	-------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○ジビエとして利用するニホンジカの頭数 現状(H25) 1,621頭→ 目標(H28) 2,540頭 ○ニホンジカの捕獲目標の達成 捕獲目標 40,000頭				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28実施内容	H28	
			(補正前)	(2月補正)	(補正後)
信州ジビエ消費拡大事業	委託直接	・シカ肉の商品規格化やシカ1頭全体の流通経路の確立 ・飲食店情報の整理と情報発信等の取組による販売者と消費者のマッチング ・県内の野生獣肉の安全性を確認するため、放射性物質検査を実施	7,927	-2,000	5,927
信州産認証シカ肉供給体制整備事業	補助金・交付金	新たに建設される獣肉処理施設の整備に係る経費に対する支援	11,880		11,880
信州ジビエ人材育成事業	補助金・交付金	・ジビエに適した捕獲・処理を適切に行える信州ジビエハンターを養成 ・適切な処理で美味しいジビエ料理を提供できる信州ジビエマイスターを養成	2,000	-1,000	1,000
		合計	21,807	-3,000	18,807

事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28補正後
	前年度繰越			
	当初予算	24,458	24,927	21,807
	補正予算			-3,000
	合計(A)	24,458	24,927	18,807
	一般財源	2,695	2,427	927
	Aの財源			
	県債			
	国庫支出金	17,150	12,000	17,880
	その他	4,613	10,500	0
決算額(B)	7,061	14,150		
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	32,716	22,408	27,065	

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
ジビエとして利用するニホンジカの頭数	集計中	2,280	2,540			
ニホンジカ捕獲頭数	39,506頭	40,000頭	40,000頭			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------